

開講科目名	日本語中上級 IB			
成績入力担当	波多野 博顕	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG081	曜日・時限等	月2(対面)	時間割コード

授業のテーマ

中上級レベルの日本語（4技能）を総合的に身につける。

授業の到達目標

1. 中級後半レベルの語彙・文法項目を含む文章が理解できる。
2. 読んだ文章について、日本語で内容をまとめたり、自らの考えをわかりやすく説明したりできる。

授業の概要と計画

※授業は原則として対面で行います。

日本語中上級Ⅰ～Ⅲでは同じ教科書を使用し、週3回の授業で1課分の学習をする。一部のクラスのみ履修することも可能だが、学習効果を促進するため、できるだけ全クラスを履修することを推奨する。各クラスの主な活動は下記の通り。

Ⅰ. 読む・書く、Ⅱ. 文法、Ⅲ. 話す・聞く

このクラス（日本語中上級Ⅰ）では、「読む・書く」を中心に行う。

授業のスケジュールは以下の通り。

1週目 6 / 15 : 19課

2週目 6 / 22 : 20課

3週目 6 / 29 : 21課

4週目 7 / 6 : 22課

5週目 7 / 13 : 23課

6週目 7 / 22(水※) : 24課 ※月曜日の授業日

7週目 7 / 27 : 復習、試験

8週目 8 / 3 : 課題学習

全8回（15時間）

*日本語中上級ⅠA～ⅢA : 週3コマ全8週（総時間数45時間）

成績評価方法

30%: ①授業参加度

40%: ②課題

20%: ③期末試験

10%: ④期末レポート

成績評価基準

①授業参加度は、授業への集中度と、授業時の活動への主体的な貢献により評価する。

②課題は、実施状況で評価する。

③期末試験は、習った項目を適切に使えるかどうかで評価する。

④期末レポートは、この授業を通じて習った知識を使ってどの程度自らの考えをうまく表現できるかで評価する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：

本授業は中上級レベルの授業である。中級レベルの学修を終えている、あるいはGEC-Jtestで「中上級レベル」と判定された学習者を対象とする。

教科書及び文法解説書を各自で用意すること。

関連科目情報

1. 連続授業のため、「日本語中上級ⅡB、ⅢB」と併せて受講することが望ましい。これらの受講ができない場合は、スケジュールをもとに、不足分を自習により補っておくこと。

2. 「日本語中上級ⅠA～ⅢA」に続けて受講することが望ましい。

事前・事後学修

準備学習・復習：

1. LMS上の指示に従って各課の予習を行うこと。

2. 授業時に話した内容をふまえて、各課の内容について作文を書き、LMSで提出すること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。

毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

質問はなるべくクラス内ですること。

その他、このクラスについて相談が必要な場合は、主任の波多野に連絡すること。

オフィスアワー：月曜日 15:00-16:30（グローバルエンゲージメントセンター3階 波多野研究室またはオンライン）。

メールアドレス：hatano.hiroaki [AT] harbor.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @（半角）に置き換えた上で宛先を入力。

学生へのメッセージ

この授業を通して、専門的な授業を日本語で受けるための準備をしてほしいと思います。

今年度の工夫

授業では、参加者同士の議論の時間をできるだけ取るようにします。

教科書

1) 『みんなの日本語中級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク）

2) 『みんなの日本語中級Ⅱ 翻訳・文法解説』（スリーエーネットワーク）

同書に関しては、英語版をはじめ7カ国語版があります。それぞれにあった言語での表記を選んでください。

『みんなの日本語 中級Ⅱ 本冊』 / スリーエーネットワーク：スリーエーネットワーク，2012年，ISBN:9784883195909

『みんなの日本語 中級Ⅱ 翻訳・文法解説書』 / スリーエーネットワーク：スリーエーネットワーク，2012年，ISBN:9784883196142

参考書・参考資料等

LMSに掲載します。

授業における使用言語

日本語

日本語

キーワード

日本語 中上級 読む・書く 長文レポート 交換留学生可